

2016年6月 家計簿だより

京都生活協同組合
組織運営部
電話 075-672-6304
FAX 075-661-4311

🍌🍌 ~今月のおたよりから~ 🍌🍌

※不用品※

毎週末にバーゲンの広告紙が入るユニクロ。我が家は、夫の衣類は大半をユニクロで購入しています。さすがにスーツやジャケットはテーラーで作っていますが、スラックスやセーターなどはユニクロで充分。けっこうステキなワーキングスタイルになります。以前は買いに行くのをじゃまくさがっていた夫も、最近はユニクロウェアを気に入って一人で買いに行くことも。現役バリバリの時はちょっと無理だったかもしれないけれど、再雇用（60才前半）の身分ではユニクロで充分小ざれいなかっこうをできますね！

地域のフリマに出店しました。3時間（準備も含めて）で利益は2,620円。1人では大変なので夫にも手伝ってもらったので2人で3時間2,620円。決して大きな利益ではなかったのですが、不用品が他の方に活用してもらえて、物を少し大切にできたかな…とうれしく思っています。他のフリマのお店でお得な買い物もすっかりしましたよ！

(56才)

※お世話かけます※

先月は申し遅れましたが、1年間の御褒美の生協ポイント頂きありがとうございました。家計簿記入もやっと慣れ、記入漏れがなくなったように思います。めんどろと存じますが何でも言って下さいませ。還付金記入は所得税のマイナスでよいでしょうか。いろいろ教えて頂きありがとうございました。

(74才)

（事務局より：はい。確定申告等の還付は所得税の戻りとしてマイナスで記入していただくので合っています。ありがとうございます。）

※積み立ては大事 その1※

今月は姪の結婚式に家族3人で出席したので、お祝いや着付け、美容院、お土産、交通費等でかなりの出費でした。昨年より積み立てをしていたので何とかなりました。

(52才)

※積み立ては大事 その2※

以前はまったくのどんぶり勘定でしたがリタイヤして家計簿モニターになり、きちんと家計簿をつけるようになりました。それでも旅行の時はお金がずいぶん要るなあと、ゆううつになってもそのままでした。

3年程たって、やっと「そうだ旅行の積み立てをしよう」と気付きました。それからは気軽に行ける様になりました。この春休み、小3の2人の孫達と電車とウォーキングで三泊四日のびわ湖一周旅行をしました。湖岸を歩きながら水鳥を観察したり、小さな花を写真に撮ったり。小さな船が停泊しているのを見て子ども達がたずねると「あゆ漁をしてるんだよ」と親切に教えてもらったり。

発見とふれ合いと思い出の旅になりましたが、ウォーキングで遅れがちな夫や、ますます体力のついてくる子ども達を見ていると、あと何回一緒に行けるかなと新たな不安もでてきました。

(67才)



☆最後になるかも？☆

今月は本当にギリギリの提出になりました。間に合って良かったー！妊婦検診が2週間に1回になり、補助券があるといっても乳がん検診やら超音波エコーなどかかる費用もあります。お腹が大きくなると仕事で着る服なども準備しなければいけないので、上の子と真逆の季節の出産になるとそういうところでも費用がかさむのを実感しています。産休・育休に入ると収入が大きく減るので、前倒しで支払えるものは支払っていくことにし、基本は緊縮財政にしていかなければと思います。とにかくあと2か月半、最後になるかもしれないマタニティライフを楽しみたいです。(35才)

☆子どもが成長すれば…☆

水道代が初めて1万円を超えてしまった…。最近長男のトイレトレーニングを始めたので、トイレに行く回数が増えたり、漏らしてしまった分の洗濯物が増えたり、といったせいなのか、それとも単なる浪費なのかはわからないが、水道料金の明細を見て何となくショックだった(しかも今年になってから、市の水道料金自体は下がっているのに)。

子どもが成長すれば光熱水費は上がるのが当然だが、今まで見たことのない金額が請求されていると何となくショックなものである。まだまだ節約できる部分がないか、一層見ていかねば、と思う今日この頃である。(36才)

☆こっちは赤字なんです☆

先月に引き続いて、娘への経済援助10万也。無駄遣いしている訳ではなのですが、不景気で残業代がカットされ(残業出来ないとのこと)、友人の結婚祝とかも有り、苦しいとのこと。仕方ないですけどこっちは赤字なんですよねー!!(ボーナスが出れば少し返済出来るかも、とのことです)(63才 一部略)

☆もっと考えて☆

日本経済の正常化のために消費税などの税負担増は理解できるのですが、その前にもっと歳出費の見直しをしてほしいと思います。慣例化されているものや無駄な補助金を見直してほしいです。今日来年度の予算が決定されましたが、歳出が増える一方です。国債償還はどう考えているのかと心配になります。税金は国民皆のお金から出ています。一部の人は自分のお金と勘違いして自由に使っていらっしゃるようにさえ見えます。大多数の幸福のために選出された人は考えてほしいです。(63才)

☆素直に喜べる環境がほしい☆

東京に住む息子が子供が生まれるのを機会に東京で家を買いたいと言うので、二人で東京に行きました。そこで新幹線とホテル代(狭くて息子の家には泊まれない)夕食で11万円もかかりました。家の方は頭金は1200万しか出せないのに8000万を超える新築を建てたいと言います。今、ローン金利は安いといっても余りにも無謀な計画にいろいろ言ってしまいました。まもなく妊娠5か月で安産祈願をするのですが、国会でも議論沸騰の保育所に入れるのかどうか。産休が終わって働き始めても子供は熱などで休むことも多くなります。残業もできなくなると収入も減るし、、、子供ができたのはうれしいのに、、、素直に喜べる環境がほしいです。(63才 一部略)



教育費特集

☆呪われているのかも☆

今月はのろわれているのかと思うほどの出費となりました☹

長男高校入学、私立の為入学金 16 万、1 学期学費 22 万、制服体操服 etc10 万、定期代 6 万。長女教科書代 1 万がかわいいです。しかし長女が手術入院となり 6 万、車のバッテリーが壊れて 1.8 万…、洗濯機も壊れて 7.2 万…。口座が軽——くなりました。(43 才)

☆時代に助けられました☆

いよいよ娘の専門学校も最終学年、教育費の終わりが見えてきた。目指す専門職に無事つけることを祈りながら、授業料を収めました。ようやく子育てのゴールを前に思う。長男の生まれた 1993 年はバブル最後の頃で定期の金利は 3%あって、積み立てた利子はのちに大学の下宿準備費用に充てることができた。1995 年生まれの娘の時は、いろいろ批判はあるものの毎回なんとか手当なるバラまき対象に当たり、高校の授業料もなくなった。結構運のよい時代に育てられたのかも…。

それにしても、大学や専門学校の費用って、それまでと比較にならないほど高いですね。学びたい子が、経済的理由で学べないことのない世の中になってほしいですね。そのために使ってくれるなら、消費税アップしたってかまわないと思うのですが。(50 才)

☆あれもこれもない☆

4 月から大学生になる息子の持っている服の少なさにビックリ(笑)! 今までは平日は制服と部屋着でしたが、これからは毎日私服。慌てて何枚か買いましたが、きっと足りないだろうな。後はバイト代で買ってね。しばらくはあれもこれもない! と出費が続きそうです…。(39 才)

☆がんばっというてよかったと思えたら幸せ☆

私立大学の授業料と大学生協に加入して保険に入ったのやパソコン、スーツ、礼服と、長男にいっぱいお金を使いました。正直、こんなに大きな支出になるなんて思った以上です。二年後に次男を進学させてやれるかめっちゃくちゃ不安です。手続きも、受験が 3 月終わりまで粘ったために期日が押して大変でした。保険が被ったりいろいろ無駄もあり、トホホです。次男は早めに決まってくれたらと思いますが、まずは今ちゃんと勉強しないことには進学はムリなので親子共々がんばらないと、です。子育ては自分育てとも言いますね。今は背中に火がついているみたいに大変です。せめて毎日ニコニコして過ごせるようにしたいな。たくさん出費したけど、あの時がんばっというてよかったと後で思えたら幸せです。(41 才)

☆ようやく春が☆

一浪の娘がようやく春から大学生になります。ほっとしましたが、上の子の大学院進学と重なって出費がまとまってあり、ため息も出ます。充実した大学生活にしてくれるよう願うばかりです。(46 才)

☆切り詰めが必要ですよ☆

大学からの年間食事代、教科書代、高校からの教科書代請求があり物入りでした。医療費もかさんできたので切り詰めが必要。(45 才)



「全国生計費調査」20周年報告交流会のお知らせ

ご案内チラシを同封しています。お申し込みは裏面の申込み欄にご記入いただくか、メールで承ります。チラシの連絡先か、京都生協の家計担当までお申し込みください。締め切りは7/8（金）です。

生協「全国生計費調査」20周年報告交流会

「全国生計費調査」の20年

～調査結果が示す家計と社会の変化

どなたでも参加いただけます！

参加費：無料



調査報告書表紙(作成中)

全国生計費調査は、事前にご登録いただく生協組合員モニター制度を1996年に開始し、2015年で20年になりました。20年間連続で提出いただいたモニターは67世帯、また、2015年は46生協1,524世帯（昨年1,416世帯）のデータを集計することができました。

2015年の調査結果と、この20年間のデータからみえる家計の変化などをまとめた「家計簿からみた私たちの暮らし」は2016年6月に発行予定です。

この貴重なデータの分析結果を報告する研究会を、東日本（横浜）と西日本（大阪）の2会場で行います。結果内容からの報告、専門家からのコメントを通して、家計管理上の課題を考える機会にしたいと考えます。是非モニターの皆さまもご参加ください。

西日本会場（大阪）

7月12日（火）13:30～16:30
新大阪丸ビル別館



1階1-1会議室(JR新大阪駅東口徒歩2分)

プログラム（予定）

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 調査結果の概要報告
日本生協連 組合員活動部
- 13:55 生協の家計簿活動報告
いずみ市民生協、京都生協
- 14:35 研究報告～20年間の家計簿データから追う
組合員の暮らしの変化
生協総合研究所 宮崎達郎
- 15:10 休憩
- 15:20 意見交換と質疑応答
- 15:45 専門家からのコメントと質疑応答
波多間純子氏（株）ライフアンドマネーク
リニック代表取締役社長・CFP
- 16:25 閉会挨拶（16:30終了予定）

京都生協からも
活動報告します。

お申込：<https://business.form-mailer.jp/fms/9afe231a55024>

共催：公益財団法人生協総合研究所

日本生活協同組合連合会

〒150-8913 東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11F 組合員活動部

ファックスまたはメールでお申し込みください。（郵送の方は提出用紙と一緒に送ってください。）

京都生協 組織運営部 家計担当 松村

Fax：075-661-4311 Eメール：kakeitantou@kyoto.co-op.jp（受信設定をお願いします）